

大賞賞金10万円!!

川柳杯2026

川柳文月賞

課題

叩く

(表現自由)

投句締切
2026年

7/31(金)

(当日消印有効)

総勢30名の選者による誌上大会!

高橋みっちよ (北海道)

鈴木 英峰 (福島)

佐藤 孔亮 (東京)

竹内いそこ (富山)

近沢さなえ (岐阜)

青砥たかこ (三重)

藤原 将恕 (兵庫)

熱田熊四郎 (島根)

笹重 耕三 (広島)

斉藤美恵子 (愛媛)

高瀬 霜石 (青森)

片野 晃一 (茨城)

八木せいじ (神奈川)

林 國夫 (石川)

今田 久帆 (静岡)

中野 六助 (京都)

たむらあきこ (和歌山)

北川 拓治 (岡山)

坂本 加代 (山口)

藤田 游心 (福岡)

あべ 和香 (岩手)

青木 薫 (埼玉)

相田 柳峰 (新潟)

みつ木もも花 (福井)

原 雄一郎 (愛知)

吉道航太郎 (大阪)

新家 完司 (鳥取)

藤井 智史 (岡山)

富田 房成 (山口)

村上 和巳 (熊本)

《応募要項》

投句方法

裏面投句用紙に必要事項をご記入の上、お送りください。

応募用紙のコピー、複数口まとめて投句可。川柳マガジンの読者でない方も投句歓迎。
川柳マガジンの投句と一緒に送りいただいてもOK。作品は新作未発表に限りです。

選句料

1口 500円 (2句) / 2口 1,000円 (4句)

代金は定額小為替、または普通為替にて。切手不可。※何も書き込まないでください。

選考方法

各選考者の持ち点(点数)を加算した総合点による作品の位づけ。
同点の場合、秀作・佳作は位取り方式、大賞・準賞は2次選考を実施。

賞・賞金

大賞 (1名) 100,000円

準賞 (3名) 各10,000円

秀作 (7名) 各2,000円 / 佳作 (50名) 各1,000円

発表

川柳マガジン2026年11月号 (2026年10月27日発売)

他、新葉館出版ホームページ。 ※入選作品集はありません。ご了承ください。

お問い合わせ・ご応募先

537-0023 大阪市東成区玉津1-9-16-4F

新葉館出版内「川柳文月賞」係

TEL 06-4259-3777 / FAX 06-4259-3888

後援 (一社) 全日本川柳協会

主催 新葉館出版 (「川柳マガジン」発行所)

537-0023

大阪市東成区玉津1-9-16-4F

新葉館出版内

「川柳文月賞」係

※切り取って宛先に利用ください。
(切手の貼り忘れにご注意)

投句料 1口 500円(2句)
2口 1000円(4句)

●定額小為替または普通為替にて。

(発行から6か月以上経過のものは無効。)

●切手、図書カードは無効になります。

※何も書き込まず、切り取らずに

郵便局から受け取った状態のままお送りください。

発表 川柳マガジン2026年11月号

(2026年10月27日発売)

他、新葉館出版ホームページ。

入選作品集はありませんのでご了承ください。

締め切り 2026年 7月31日(金)

(当日消印有効)



☎	ご住所	ご本名	雅 号
()	〒 - 都道府県		(姓) ふりがな
			(名)
()			※雅号と同じ場合はご記入不要

※入選作品の著作権は著者、版權は主催者とさせていただきます、入選作品は川柳データバンクに無料で掲載。

※選考規定として、暗合句や類想句に関しては「川柳マガジン」のルールに準拠しますので、毎号掲載の「川柳マガジン全国誌上句会投句規定ページ」下欄の内容をご確認ください。また、同句会は発表から1ヶ月間は暗合句鑑定期間とし、その後正式に入選として賞金をお送りいたします。なお、鑑定期間を過ぎてからのご指摘は、今後の参考とさせていただきますが、賞の取り下げなどは基本的に行いません。

※投句者の不正行為(入選句発表前に選者に接触を試みる等)が判明した時点で、該当する投句作品を失格とし、次の句会以降の投句も全て無効と致します(この場合の返金は一切致しません)。

※本企画は状況により、選者の変更、または中止する場合がありますことをご承知ください。なお、中止の場合は選考や発表をしないものに関しては投句料は返金、その他に關しての返金は出来かねますので、ご留意の上で参加をお願いします。